

2023

8.2 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_8rmbdSiwRdCvg6c3QHCWrw

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

国際農学教育プログラム： COIL+ について

～Learning and thinking about SDGs～

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



Key Words

国際農学教育

SDGs

現場実習

COIL

房 賢貞 助教

九州大学 農学研究院 附属国際農業教育・研究推進センター

私は韓国で生まれ、過去 20 年間日本に住んでいます。日本での生活はすべて九州大学で過ごしました。学部 4 年生の 2001 年、九州大学に交換留学生としての留学がきっかけで、日本で勉強を続けていきたいと思うようになりました。2003 年 10 月、農学研究科の修士課程に進み、2008 年 9 月、農学博士号を取得しました。農林水産省のプロジェクト研究員として、社会問題の解決を目的とした産学連携プロジェクトに携わり、2012 年 4 月より、女性研究者キャリア開発センターの研究員として勤務しました。2014 年 2 月から 2018 年 3 月まで、大学のリサーチアドミニストレーター (URA) として勤務し、研究プロジェクトの立案・提案、実行、運営をサポートしました。この間、農学系の研究開発プロジェクトをいくつか担当し、特に農産物の輸出促進に関するプロジェクトは URA としての最後のプロジェクトとなりましたが、このプロジェクトは研究プロジェクトとして今も継続しています。2018 年 4 月より、農学部の留学生の指導、教育プログラムの開発、進路指導やサポートなどを担当しています。

基礎研究から応用研究まで、生物学から化学、工学、経済学まで幅広い研究分野を含んでいるのが九州大学の農学分野です。まるで分野全体が、ミニ総合大学と言えるでしょう。私は、その農学研究院で「課題を見つけて、その解決に向けて実践する。」ことを仕事としています。

本日のセミナーでは、二つの主要なプロジェクトについてご紹介させていただきます。前半は、国際農学教育プログラム:COIL+ (COIL 型授業+現地実習) について、後半では、農林水産物の輸出に関する研究開発プロジェクトの活動についてご紹介できればと思います。